

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AIAI PLUS 千葉ニュータウン中央		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	71	(回答者数) 57
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の職員から共感的に支援をされている。	できないではなく、できるためにはどうしたらいいのかを日々考えながら支援に取り組んでいます。	お子さま一人一人を理解するために職員とカンファレンスなどをして共有していきます。
2	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思う。	お子さんによっては大きくお部屋を使ったり、半分にして運動を展開したりしています。	十分にスペースを確保しながら、安全性にも留意し、プログラムを実施して行きます。
3	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	専門職の職員がマンツーマンでの支援やグループでの支援など、日々の支援の中で取り組んでいます。	一人一人の特性に応じて丁寧な支援ができるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族が参加できるプログラムがない。	個別に相談などは行っていますが、ペアレントトレーニングとして場をもうける事ができませんでした。	ペアレントトレーニングなどの開催を検討していきます。
2	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない。	セッションが95分の中で交流する場をもうけるが難しかったです。	どうしたら交流の場が設けられるのかを検討していきます。
3	きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がない。	セッションが95分の中で交流する場をもうけるが難しかったです。	兄弟交流がどうしたら開催できるかを検討していきます。